

1 国語に関する調査

【特長】

- ・自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫する問題ができる。意見文などで構成を意識しながら、根拠を明確にする指導を計画的に行ってきました成果であると考えられる。
- ・語彙力を問う問題が、できている。文脈から意味を推測する力がある。言葉の表現力を身に付ける授業で、語彙力を高める指導を行った成果であると考えられる。

【課題】

- ・自分の考えが分かりやすく伝わるように、表現を工夫して書くことに課題がある。相手に分かりやすく効果的に書くために、様々な資料や文章を活用し取り組む必要がある。
- ・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考える力に課題がある。自分の考えがより明確に伝わるよう、書く学習についてさらに取り組む必要がある。

2 数学に関する調査

【特長】

- ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事象が成り立つ理由を説明することができている。整数を文字式で表し説明する問題を授業で繰り返し学習してきた成果だと考えられる。
- ・全体的に無解答率が低い。これは普段からあきらめずに考え、最後まで取り組もうとする態度を育成してきたためだと考えられる。

【課題】

- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することについて課題が見られる。日常生活や社会の事象から問題を見出し、主体的に取り組む数学的活動の充実を図る必要がある。
- ・統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することに課題が見られる。問題をよく読み、証明に用いた前提や証明の根拠、結論を整理して考えさせる授業をさらに充実させる必要がある。

3 理科に関する調査

【特長】

- ・学んだ知識を、危険から身を守ることや、日常生活など身近な現象と結び付けて考え、活用できている。

【課題】

- ・事物・現象を考察する際に、大まかな表現で説明することはできるが、順序立てながら科学的な表現で説明することに課題がある。特に、「密度」と「体積」の表現については課題が見られる。スマールステップを取り入れながら、科学的な表現で説明できるよう学習を工夫する。

4 生徒質問紙の結果より

【特長】

- ・「お互いに協力しながら課題の解決に取り組む」や「話し合いを通じて、自分の考えを深め、新たな考え方方に気付ける」「自分と違う意見について考えることは楽しい」と回答した生徒の割合が高かった。コミュニケーションの有用性を、多くの生徒が理解していると考えられる。
- ・ICT 機器を使用したプレゼンテーションの作成や発表活動での工夫等について肯定的な回答が多く、自分の思いや考えを積極的に発信しようとしている姿勢がみられた。総合的な学習の時間や道徳等での取組が、自信につながっていると考えられる。

【課題】

- ・いずれの教科に対しても「授業の内容はよく分かる」と多くの生徒が回答している一方で、その学習を次の学習に結び付けて考えられる生徒が少ない。学習が、応用や実践につながるよう指導する必要がある。
- ・将来の夢や目標を思い描けずにいる生徒が一定数いる。キャリア教育の充実を図り、多くの選択肢と可能性を提示していきたい。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・すべての教科において、授業で学んだことを次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりできるよう、授業づくりを工夫する。
- ・生徒一人ひとりが将来の夢や目標を持ち、それに向かって努力できるよう、特別活動、総合的な学習の時間や学校生活の様々な活動を通して、キャリア教育の充実に努める。
- ・生徒が自己肯定感を上げられるよう、一人ひとりの活躍の場を増やし、お互いのよいところを認め合える人間関係の育成に努める。
- ・教育相談を充実させ、困り感を持った生徒への支援の充実に取り組む。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・子どもたちが安心して学校生活を送れるよう全教職員で取り組みます。ご家庭でも、お子様への温かい声掛けをお願いします。
- ・SNS によるトラブルから子どもたちを守るために、インターネットやスマートフォン等の扱いに関するルール・マナーをご家庭でもご指導ください。学校でも引き続き指導いたします。
- ・常日頃から、地域の多くの方々に子どもたちを見守っていただき、大変感謝しています。引き続き、将来横内地区を支える子どもたちを温かく見守り、ご支援くださいますようお願いします。